

【第1部】基礎編

- Q1. 答え：断定の助動詞「なり」 解説：体言「花」＋「なり」。「これは花である」。
- Q2. 答え：(2つ目) 伝聞の助動詞「なり」 解説：「申す」(終止形)＋「なり」。「申すという」。
- Q3. 答え：ナリ活用形容動詞「静かなり」終止形 解説：語幹「静か」＋「なり」。
- Q4. 答え：伝聞・推定の助動詞「なり」 解説：「響く」終止形＋「なり」。「聴覚(音)で推定。「鐘の音が響いているようだ」。
- Q5. 答え：断定「なり」 解説：体言「春」＋「なり」。「春である」。
- Q6. 答え：ナリ活用形容動詞「あはれなり」 解説：語幹「あはれ」＋「なり」。
- Q7. 答え：伝聞・推定「なり」 解説：「鳴く」終止＋「なり」。「鳥が鳴いているらしい／鳴くという」。
- Q8. 答え：断定「なり」 解説：体言「者」＋「なり」。
- Q9. 答え：伝聞・推定「なり」 解説：「聞こゆ」終止＋「なり」。「聴覚で推定」。
- Q10. 答え：断定「なり」連用形 解説：体言「風」＋「なり」連用＋「けり」。「風であった」。
- Q11. 答え：断定「なり」 解説：体言「夜」＋「なり」。
- Q12. 答え：ナリ活用形容動詞「よろづなり」 解説：語幹「よろづ」(=さまざま)＋「なり」。
- Q13. 答え：ナリ活用形容動詞「平らかなり」 解説：語幹「平らか」＋「なり」。
- Q14. 答え：伝聞・推定「なり」 解説：「詠む」終止＋「なり」。「歌を詠むという／詠むらしい」。
- Q15. 答え：伝聞・推定「なり」 解説：「さへづる」終止＋「なり」。
- Q16. 答え：断定「なり」 解説：体言「人」＋「なり」。
- Q17. 答え：伝聞・推定「なり」 解説：「発つ」終止＋「なり」。
- Q18. 答え：伝聞・推定「なり」連用形 解説：四段「吹く」終止形＋伝聞推定「なり」連用形＋過去「けり」終止形。終止形＋なり＝伝聞推定(音による判断)。「風が吹いている音が聞こえたよ／吹いていたそうだ」。
- Q19. 答え：断定「なり」 解説：体言「都鳥」＋「なり」。
- Q20. 答え：四段動詞「成る」連用形「なり」 解説：「春」＋格助詞「に」＋動詞「成る」連用「なり」＋完了「ぬ」。「春になった」。

【第2部】標準編

- Q21. 答え：断定「なり」 解説：体言「人」＋「なり」。
- Q22. 答え：伝聞・推定「なり」 解説：「言ふ」終止＋「なり」。「物を言うという／言っているらしい」。
- Q23. 答え：伝聞・推定「なり」 解説：「給ふ」終止＋「なり」(尊敬語＋伝聞)。
- Q24. 答え：ナリ活用形容動詞「静かなり」 解説：語幹「静か」＋「なり」。
- Q25. 答え：断定「なり」連用形「に」(係り結び) 解説：体言「人」＋断定「なり」連用形「に」＋係助詞「こそ」＋ラ変「あり」＋過去「けり」已然形「けれ」(こそ結び)。「心ある人だったのだ」。「なり」が連用形「に」になっている点に注意。
- Q26. 答え：伝聞・推定「なり」 解説：「降る」終止＋「なり」。
- Q27. 答え：断定「なり」 解説：体言「人」＋「なり」連用＋「けり」已然＋「ば」。

- Q28. 答え：伝聞・推定「なり」 解説：「かたぶく」終止＋「なり」。
- Q29. 答え：断定「なり」 解説：体言「主」＋「なり」。
- Q30. 答え：伝聞・推定「なり」 解説：「止まず」（打消ず終止）＋「なり」。「止まないらしい」。
- Q31. 答え：ナリ活用形容動詞「あらたなり」 解説：語幹「あらた」＋「なり」。
- Q32. 答え：断定「なり」 解説：下二段「出づ」連体形「出づる」＋断定「なり」。連体形に直接接続するのは断定（伝聞推定「なり」は終止形接続が原則）。「月が出るのである／出ているのだ」。
- Q33. 答え：伝聞・推定「なり」連用形 解説：「聞こゆ」終止＋「なり」連用＋「けり」。
- Q34. 答え：断定「なり」連用形 解説：体言「弟子」＋「なり」連用＋「けり」。
- Q35. 答え：断定「なり」 解説：体言「人」＋「なり」。
- Q36. 答え：断定「なり」 解説：体言「音」＋「なり」。「(それは) 風が吹く音である」。
- Q37. 答え：断定「なり」連用形 解説：体言「人」＋「なり」連用＋「けり」。
- Q38. 答え：伝聞・推定「なり」連用形 解説：「言ふ」終止＋「なり」連用＋「けり」。「物を言うのだそうだ」。
- Q39. 答え：断定「なり」（最後の「なり」） 解説：体言「御方」＋「なり」。先頭の「あはれなる」は形容動詞連体形。
- Q40. 答え：伝聞・推定「なり」 解説：「吹く」終止＋「なり」。
- Q41. 答え：断定「なり」 解説：形容詞「難し」連体形「難き」＋断定「なり」。連体形＋なりは断定。「古典の道は、やはり難しいのだ」。
- Q42. 答え：断定「なり」 解説：体言「人」＋「なり」。
- Q43. 答え：断定「なり」連用形 解説：体言「心」＋「なり」連用＋「けり」。
- Q44. 答え：伝聞・推定「なり」 解説：「帰る」終止＋「なり」。
- Q45. 答え：断定「なり」 解説：形容詞「深し」連体形「深き」＋断定「なり」。「古典の文は深いのだ」。
- Q46. 答え：断定「なり」連用形 解説：体言「人」＋「なり」連用＋過去「き」連体「し」＋「が」（接続助詞）。「心ある人だったが」。
- Q47. 答え：伝聞・推定「なり」 解説：「摘む」終止＋「なり」。
- Q48. 答え：断定「なり」連用形 解説：体言「大臣」＋「なり」連用＋「けり」。
- Q49. 答え：断定「なり」 解説：ラ変「あり」連体形「ある」＋断定「なり」。「あるなり」と書き切つてある形は断定（伝聞・推定なら撥音便化して「あんなり／あなり」となるのが普通）。「にて」は断定「なり」連用形「に」＋接続助詞「て」。「名高い都鳥であるのだ」。
- Q50. 答え：伝聞・推定「なり」連用形 解説：「給ふ」終止＋「なり」連用＋「けり」。

【第3部】応用編

- Q51. 答え：断定「なり」連用形 解説：「人」＋「なり」連用＋「けり」。
- Q52. 答え：断定「なり」 解説：形容詞「激し」連体形「激しき」＋断定「なり」。「風の音は、まだ激しいのだ」。
- Q53. 答え：形容動詞「明らかなり」連用形＋過去「けり」 解説：語幹「明らか」＋「なり」連用＋「けり」。
- Q54. 答え：断定「なり」 解説：形容詞連体「難き」＋「なり」。「古典の道は難しいのだ」。
- Q55. 答え：伝聞・推定「なり」 解説：「来る」（カ変連体、ラ変型として終止扱い）＋「なり」。

- Q56. 答え：形容動詞「あはれなり」連用形＋過去「けり」連体形「ける」 解説：「あはれなり」連用＋「ける」（この結びの場合）。
- Q57. 答え：（「なり」ではない・連体形結び） 解説：係助詞「ぞ」＋形容詞「あらまほし」連体形「あらまほしき」（ぞの結び）。「なり」は含まれない引っ掛け問題。「仏に祈りなさがるのが理想的なのである」。係り結びの結びを「なり」と書きそうになる誤りを問う。
- Q58. 答え：断定「なり」 解説：ラ変「あり」連体形「ある」＋断定「なり」。ラ変は連体形＋なりで断定（終止形接続なら伝聞推定）。「私は古典塾の主であるのだ」。なお冒頭の「にて」は断定「なり」連用形「に」＋接続助詞「て」。
- Q59. 答え：断定「なり」連用形 解説：体言「人」＋「なり」連用＋「けり」。
- Q60. 答え：伝聞・推定「なり」 解説：完了「つ」終止＋「なり」。「雨が止んだという」。
- Q61. 答え：断定「なり」 解説：体言「人」＋「なり」。
- Q62. 答え：伝聞・推定「なり」連用形 解説：「摘む」終止＋「なり」連用＋「けり」。
- Q63. 答え：形容動詞「静かなり」連用形＋過去「ける」 解説：語幹「静か」＋「なり」連用＋「ける」連体＋体言「夜」。
- Q64. 答え：断定「なり」 解説：形容詞連体「賑はしき」＋「なり」。
- Q65. 答え：断定「なり」連体形「なる」 解説：体言「人」＋「なる」＋準体「を」。
- Q66. 答え：四段動詞「成る」終止形 解説：「多く」（形容詞連用）＋動詞「成る」終止「なる」。「多くなる」。
- Q67. 答え：断定「なり」連体形「なる」 解説：体言「人」＋「なる」＋助動詞「べし」。
- Q68. 答え：形容動詞「さやかなり」連体形「なる」 解説：語幹「さやか」＋「なる」＋体言「夕暮れ」。
- Q69. 答え：断定「なり」連用形「なり」 解説：四段「生く」已然形「生け」＋存続「り」連体形「る」＋断定「なり」連用形＋過去「けり」終止形。「古い友は、まだ生きていたのだ」。連体形「生ける」＋なりで断定。
- Q70. 答え：四段動詞「成る」連用形 解説：「春」＋「に」＋「成る」連用「なり」＋完了「ぬ」已然＋「ば」。「春になったので」。
- Q71. 答え：断定「なり」連体形 解説：体言「人」＋「なる」＋係助詞「ぞ」。
- Q72. 答え：断定「なり」連用形 解説：体言「人」＋「なり」連用＋「けり」終止＋引用「と」。
- Q73. 答え：伝聞・推定「なり」連用形 解説：「吹く」終止＋「なり」連用＋「けり」。「風が吹いていたという」。
- Q74. 答え：断定「なり」未然形「なら」 解説：体言「人」＋「なら」＋打消「ぬ」（連体形）。「物のあわれを知る人ではない」。
- Q75. 答え：形容動詞「明らかなり」未然形「なら」 解説：語幹「明らか」＋「なら」＋「む」（推量）。
- Q76. 答え：断定「なり」連体形 解説：体言「人」＋「なる」＋「らむ」（推量）。
- Q77. 答え：伝聞・推定「なり」 解説：「聞こゆ」終止＋「なり」。
- Q78. 答え：断定「なり」連用形 解説：形容詞連体「深き」＋「なり」連用＋「けり」。
- Q79. 答え：断定「なり」連体形 解説：体言「人」＋「なる」＋準体「を」。
- Q80. 答え：断定「なり」已然形「なれ」 解説：体言「生徒」＋「なれ」＋「ば」。

【第4部】入試レベル

- Q81. 答え：断定「なり」（または伝聞） 解説：伊勢物語第九段。「そこを八橋という由来である」（断定）または「八橋と言ったという」（伝聞）。

Q82. 答え：(参考、本問は「なり」を含まないが、方丈記冒頭) **注釈：**参考問題。

Q83. 答え：断定「なり」已然形「なれ」(已然形+「ば」) **解説：**打消「ず」連体形「ざる」+断定「なり」已然形「なれ」+接続助詞「ば」+係助詞「こそ」+打消「ず」已然形「ね」(こそこの結び)。「鶯は鳴く時節ではないので、声を立てないのだ」。古今集仮名序を踏まえた表現。

Q84. 答え：断定「なり」 **解説：**体言「人」+「なり」。「中国に渡ったとかいう人である」。

Q85. 答え：両方とも形容動詞連体形「なる」(最初)と断定「なり」連体形「なる」(2つ目) **解説：**-「明らかなる」：形容動詞連体形-「夜なる」：断定連体形

Q86. 答え：断定「なり」已然形「なれ」 **解説：**体言「者」+「なれ」+「ど」(逆接)。

Q87. 答え：断定「なり」連用形 **解説：**体言「人」+「なり」連用+「けり」終止+引用「と」。

Q88. 答え：四段動詞「成る」連用形 **解説：**「多く」(形容詞連用)+「成る」連用「なり」+完了「ぬ」。「多くなった」。

Q89. 答え：伝聞・推定「なり」 **解説：**サ変「おはす」終止形+伝聞推定「なり」。終止形に直接接続するのは伝聞推定。「帝が御殿の中にいらっしゃるそうだ／いらっしゃる音が聞こえる」。

Q90. 答え：伝聞・推定「なり」 **解説：**完了「つ」終止+「なり」。

Q91. 答え：断定「なり」連用形 **解説：**体言「人」+「なり」連用+「けり」終止+引用「と」。

Q92. 答え：伝聞・推定「なり」連用形 **解説：**「降る」終止+「なり」連用+「けり」。

Q93. 答え：断定「なり」連用形 **解説：**体言「人」+「なり」連用+過去「き」連体「し」+「を」。

Q94. 答え：断定「なり」未然形「なら」 **解説：**体言「人」+「なら」+「ば」(仮定)。

Q95. 答え：断定「なり」 **解説：**形容詞「激し」連体形「激しき」+断定「なり」。「風が吹く音が、ひどく激しいのだ」。

Q96. 答え：断定「なり」連用形 **解説：**体言「人ら」+「なり」連用+「けり」。

Q97. 答え：断定「なり」連用形 **解説：**体言「夜」+「なり」連用+「けり」。

Q98. 答え：断定「なり」連体形「なる」 **解説：**体言「人」+「なる」+「べし」。

Q99. 答え：四段動詞「成る」未然形「なら」 **解説：**「春」+「に」+「なら」+「ば」+「まし」(反実仮想)。「春になったなら、花が咲くだろうに」。

Q100. 答え：(参考、「なり」を含まない方丈記冒頭) **注釈：**参考問題。